



シンポジウム開催案内

●特基研究会 変形特性の予測と制御部会

変形特性の予測と制御部会シンポジウム

変形特性は材料を塑性加工する際にも構造材として使用する際にも必要不可欠な基本特性ですが、材料の内部組織や温度・ひずみ速度などの外的条件によって複雑に変化します。本部会はこの特性の予測法と制御方法を確立すべく、基礎研究者、応用研究者およびシステム技術者の共同作業により研究を進め、かなりの成果が得られたので、下記により成果報告会を行ないます。なお本部会は、日本鉄鋼協会、日本金属学会、日本学術振興会（製鋼第19委員会および製鉄第54委員会）の3者で構成された鉄鋼基礎共同研究会の部会として発足、活動して来ましたが、平成5年度より日本鉄鋼協会特基研究会に移行致しました。

1. 主催：(株)日本鉄鋼協会 2. 共催：(株)日本金属学会 3. 協賛：(株)日本塑性加工学会、(株)日本材料学会、(株)日本機械学会
4. 日時：平成6年4月28日(木) 9：00～17：00
5. 場所：東京大学 山上会館（東京都文京区本郷7-3-1 TEL：03-3818-3008）
6. プログラム

9：00～9：05	開会の辞	部会長：吉永日出男（九大）
9：05～9：40	鉄鋼材料の加工・熱処理による組織制御	牧正志（京大）
9：45～10：20	加工と再結晶による組織制御	酒井拓（電通大）
10：35～11：10	常温変形特性の組織依存性	美浦康宏（九大）
11：15～11：50	熱間圧延鋼の常温における変形特性（1. 単一組織鋼）	梅本実（豊橋技科大）
11：55～12：30	熱間圧延鋼の常温における変形特性（2. 複合組織鋼）	友田陽（茨城大）
13：35～14：10	高温変形特性の発現機構と制御	丸山公一（東北大）
14：15～14：50	クリープ寿命予測法の開発	遠藤孝雄（横国大）
15：05～15：40	変形応力の履歴依存性予測法の開発	中西賢二（鹿児島大）
15：45～16：20	成品加工過程予測法の開発	品川一成（阿南高専）
16：25～17：00	総括および閉会の辞	矢田浩（静岡理工科大）

7. テキスト（最終報告書）：予約は新刊予約案内（本号N122を参照下さい）によりお申込下さい。なお、当日会場でも販売いたします。
8. 参加費：1,000円（当日、受付でお支払い下さい）
9. 申込み・問合せ先：参加ご希望の方は、氏名・勤務先・所属・電話番号および最終報告会の参加希望を明記の上、下記事務局までハガキまたはFAXでお申し込み下さい。（参加者制限：先着120名まで）  
 (株)日本鉄鋼協会 技術室 林万紀子、松野伸男  
 〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階（TEL 03-3279-6021 FAX 03-3245-1355）

鉄鋼技術情報センター図書移管先決定のお知らせ

本会では鉄鋼技術情報センターを、平成6年2月末日をもって閉鎖することに伴い、保有図書の移管先を公募しておりましたが、この度千葉工業大学付属図書館へ移管することを決定いたしました。（関連記事「鉄と鋼」Vol. 79, No.12 N827掲載）

会員の皆様への閲覧、複写等のサービス提供は、移管手続、作業等が終了次第、千葉工業大学付属図書館において行います。実施時期は、平成6年9月頃を予定しております。この間会員の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご了承下さいますようお願い申し上げます。サービス提供に関する情報は、追って「鉄と鋼」誌上でお知らせいたします。

訂正

展望「平成5年鉄鋼生産技術の歩み」（「鉄と鋼」Vol. 80 No.1（平成6年1月号 N15, 16頁）に誤りがございましたので、次のとおり訂正させていただきます。訂正箇所はゴチック体で示してあります。

事務局のミスにより皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

N15 上から28行目

冷延	住友金属工業	黒鉛化高炭素冷延鋼板	炭素鋼の持つ強さをそこなく加工性を格段にアップした「強度記憶型軟鋼板」	H5.3
----	--------	------------	-------------------------------------	------

N16 上から30行目

特殊鋼	三菱製鋼	新型ハードロックツース（CA70型）	基礎工事の中の杭基礎施工における各種工法の先端チューブに取り付ける刃先	H5.3
		冷間圧延用鍛鋼製セミハイスロール R-91C	高温焼戻しが可能な、耐摩耗性、耐事故性に優れたESR製鍛鋼一体型セミハイスロール	H4.8

N16 上から36行目

特殊鋼	日本高周波鋼業	高強度・高靱性冷間工具鋼 KD33	成形パンチ・ダイ、ファインブランキング用パンチ、ダイ、刃物に適した冷温間工具鋼	H5.3
-----	---------	-------------------	---	------